
第六号議案

平成23年度 事業計画

スローガン 看護職の知恵と力を結集して、安全・安心な医療・看護を提供しよう

医療が高度化・先進化する一方、世界に類を見ない超高齢社会を迎えたわが国では、保健医療介護に対する多様な国民のニーズに対応するための改革が進められています。

患者や国民に最も身近で、最も長い時間見守っている看護職が、知恵と力を結集し、安全で安心な医療・看護の提供に向けて、看護職の声を積極的に反映し連携・共生していく必要があります。

多くの看護職は交代制勤務や長時間の時間外勤務等により、過重な負担と緊張によって疲弊しています。安全・安心な医療・看護を提供していくためには、何より専門職としての看護職が、安心して安全に働き続けられる環境づくりが喫緊の課題です。

山口県看護協会はこの使命を実現するために、組織の強化をはかり、看護職一人ひとりが質の向上に向けた活動を推進し看護の力を発揮しましょう。

- 重点事業**
- 1 会員の増加と組織の活性化
 - 2 継続教育の充実とキャリア開発の支援
 - 3 新人看護職員（保健師・助産師・看護師）研修事業の推進
 - 4 看護職の確保定着に向けた事業拡充
 - 5 療養生活を支える訪問看護の推進と充実
 - 6 県民の健康と福祉を守る活動の推進

1 会員の増加と組織活性化

目 標	事 業	内 容
1-1 組織の強化	<p>1) 会員支援の推進</p> <p>2) 各種情報の提供</p> <p>3) 会員管理システムの充実</p> <p>4) 会員の福利厚生への推進</p> <p>5) 会員の増加推進</p> <p>6) 委員会</p>	<p>①会員支援センターの相談支援活動推進</p> <p>②会員支援センター研修 H23.7.2(土) 「サポート体制作り～組織的なメンタルヘルス対策～」 講 師：産業医科大学 産業医実務研修センター 教授 堤 明純 対象者：サポーター育成研修受講者（1・2回） 中堅・管理者</p> <p>③支部との交流促進 ・会員との対話</p> <p>①会報「きらめき」内容充実一年4回全会員及び県民等へ配布 ・県会報「きらめき」と支部会報の合併に伴う支部ページの作成</p> <p>②「山口県看護協会のご案内」「JNA入会のしおり」「会員ハンドブック」配布・周知</p> <p>③タイムリーな情報提供 ・ホームページ活用（他団体とリンクさせる） ・印刷物等（他団体のチラシ等）配布</p> <p>①会員証交付 ②「施設名簿」作成、配布 ③会員管理システム（JNAS）の運用・管理 ・異動先へ円滑な送付</p> <p>①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会会長表彰、県知事表彰等 ③災害見舞規程に準じて履行 罹災見舞・休業見舞・死亡弔慰金等 ・災害見舞規程の見直しと周知</p> <p>④「会員ひろば」活用 ・ミニコンサート、茶話会友愛セール等の開催検討</p> <p>⑤その他 ・函書の無償配布 ・会館使用料の減免制度</p> <p>①看護職賠償責任保険制度のPR・加入促進 ・会員へ随時広報</p> <p>①広報委員会 年4回 編集小委員会 年8回（編集・校正） 取材 年1回程度</p>

目 標	事 業	内 容
1-2 会員意識の高揚	1) 研修、イベントによる啓発	①各種研修会での働きかけ ・新人教育研修 ・看護実践能力養成教育研修 ・認定看護管理者教育研修 ・その他研修 ②イベントによる働きかけ ・「准看護師のつどい」開催 未加入者、未加入施設への案内 ・「看護の日・看護週間」行事
1-3 組織の活性・強化	1) 公益社団法人への円滑な移行 2) 地域整備事業 3) 組織運営 4) 円滑な会館運営	①公益社団法人移行への整備 ・新定款の策定及び関係諸規程の整備 ・公益認定等委員会への移行認定申請手続 ・会員へ情報提供等広報活動 ②新会計システム導入実施 ③支部会計整備統合準備 ・支部長・会計担当者との勉強会開催 ①連携のための協議・情報交換 理事会・支部長合同会議 年2回開催 ②支部活動強化 ①諸会議の開催 ・通常総会 年1回 ・各職能集会 年1回 ・理事会 年6回以上 ・常務理事会 年6回以上 ・監査会 年2回 ・各職能委員会 定例会合 ・常任委員会 定例会合 ・特別委員会 定例会合 ・日本看護協会通常総会代議員会研修会 H23. 4. 23(土) ・施設看護責任者会議 年1回 ①本館・新館の適正な管理運営 ②研修室・会議室等施設の適正な管理運営 ③機器備品類の常時適正な保守管理 ④情報システム等の整備・保守・管理 ⑤健全な財産管理・運用 ⑥駐車場用地の購入検討

目 標	事 業	内 容
	<p>5) 日本看護協会との連携強化</p> <p>6) 看護教育機関との連携</p> <p>7) 看護関連政策の推進</p>	<p>①諸会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常総会 H23. 6. 6(月)～6. 7(火) ・全国職能別集会 H23. 6. 8(水) ・理事会 年6回程度 ・法人委員会 H23. 11. 18(金)(中央1回) H23. 9. 15(金)～9. 16(金)(地区別1回) ・都道府県職能委員長会議 年3回 H23. 8. 2(火)・H. 24. 3. 3(金)(中央1回) H23. 9. 15(木)・9. 16(金)(地区別1回) ・都道府県看護協会事務担当者会議 未定 ・都道府県看護協会JNAS担当者会議 H23. 9. 22(木) <p>その他</p> <p>①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)</p> <p>②見学・実習の受け入れ</p> <p>③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)</p> <p>①要望・提言・情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会への要望 ・提案事項提出 ・自由民主党山口県支部連合会長へ要望書提出 ・各種協議会・関連審議会等へ意見反映 <p>②看護連盟活動の支援</p>

2 継続教育の充実とキャリア開発の支援

目 標	事 業	内 容
2-1 継続教育の推進	1) 山口県看護研究学会 2) 教育研修会 3) 県委託研修 4) 中央における研修会 5) 委員会 6) 日本看護協会との連携	①第11回看護研究学会 H24. 3. 1 (土) ②学会委員会 4回程度 ①教育研修計画 (P86参照) 41コマ44日 ②衛星通信研修 H23. 11. 11・12 (金・土) 「生活をつなぐ退院支援」 ③インターネット配信研修 H. 23. 11. 26 (土) 「働き続けられる職場づくり」～夜間勤務を科学する～ ①H23年度認知症看護研修会 2回 ①受講者の推薦派遣 ①教育委員会 10回程度 ①都道府県看護協会教育担当者会議H23. 8月予定 ②日本看護学会運営会議 H23. 11月予定
2-2 認定看護管理者教育の推進	1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 3) 認定看護管理者教育課程サードレベル 4) 認定看護管理者の活動推進 5) 委員会	①ファーストレベル教育研修会開催 (162時間) H23. 9. 2～H24. 2. 25 予定 ①セカンドレベル教育研修会準備 ①サードレベル教育研修会開催 (180時間) H23. 6. 4～11. 26 予定 ①認定看護管理者活動のための支部別登録マップ作成検討 ①認定看護管理者教育運営委員会 6回程度
2-3 図書室の機能充実	1) 図書の整理・閲覧・貸出 2) 研修教材の整備 3) 日本看護協会との連携	①図書購入 (定期購読雑誌、26冊) 資料の収集・提供 (医学中央雑誌検索) ②蔵書目録の整理 ③図書貸し出し ④文献コピーサービス ⑤司書業務専任者配置 ①教材 (視聴覚機器等) の管理 ①都道府県看護協会図書担当者研修会 H. 23. 10月予定

平成23年度 教育研修計画

山口県看護協会教育理念

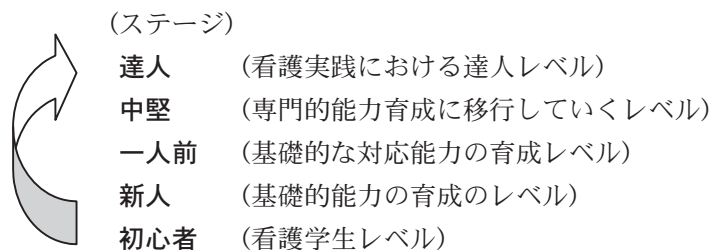
山口県看護協会の理念である〈人間愛・責務・連携・快適〉に基づき、看護専門職としての責務を遂行できるように、生涯学習を支援しキャリア開発をはかる。

教育研修（継続教育）の目的

会員個人が主体的に知識・技術を習得し、優れた看護実践家を目指すことを目的とします。

山口県看護協会の教育研修の構造

山口県内の看護の質の向上をめざし、看護職者個人が主体的にキャリア開発できるよう、基本的には実践能力習熟の5つの段階にに基づく以下の段階によるクリニカルラダー方式を導入しました。



教育研修クリニカル・ラダーの段階

ステージ	ステージのレベル	山口県教育研修	目 標	対象の日安
初心者	看護学生のレベル	設定なし		
新人	基礎的能力育成のレベル	新人教育	看護専門職としての責任、役割を認識し、キャリア形成の基盤をつくることができる。	新卒～実務経験2年目くらい
一人前	基礎的な対応能力の育成レベル	看護実践能力養成Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の知識をふりかえり、看護実践の基礎をかためる。 ・物事をクリティカルに考えることができ、エビデンスに基づいた看護を実践できる。 	実務経験2～5年目くらい
中 堅	専門的能力育成に移行していくレベル	看護実践能力養成Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい知識や技術が習得でき、キャリアアップがはかれる。 ・知識や技術が維持でき、日々の実践の振り返りができる。 ・専門職としての職業アイデンティティが確立できる。 	実務経験5年目以上くらい
		看護実践能力養成Ⅲ (管理準備教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護を行ううえで、経験を問わず、日々の管理活動に役立つ知識、実践を学ぶことができる。 ・看護管理に必要な、人事、業務管理、職員教育についての知識を養い役割を遂行する。 ・看護に必要な社会情勢に関する新しい情報を得ることができる。 	実務経験5年目以上くらい ※看護管理はあらゆる看護職に必要なである [認定看護管理者への準備教育として位置づけています]
達 人	看護実践における達人レベル	①管理者育成 (看護管理者認定講習) ・ファーストレベル ・セカンドレベル ・サードレベル ②CNS等の設定なし ③教育・研究者育成設定なし		
トピックス			看護に必要な知識・技術や新しい情報等を得ることができる。	会員全員
リフレッシュ			自己尊重感情が増し、毎日を肯定的に生きることができる。	会員全員

新人教育

研修会テーマ
新人へのメッセージ ナース主義！～看護師だからできる生き方考え方～
医療安全Ⅰ
身につけよう！～リスクマネジメントの基礎～
感染管理は現場から！ 現場に活かそう感染管理
やさしく学ぶ！観察 スキルアップ
新人の自己成長のための ポートフォリオ 入門編
新人ナースのための 急変時の対応

看護実践能力養成Ⅰ

研修会テーマ
看護研究Ⅰ
サクサク看護研究 ～看護研究を楽しもう～
今日から役立つコミュニ ケーションスキル
悩んでいませんか、 新人教育。 応援します、プリセ プター。
患者さんもあなたも 楽ちん ～移動介助とリハビリ テーション～
ハート先生の心電図 教室 ～学びなおしの心電 図～

看護実践能力養成Ⅰ

研修会テーマ
フィジカルアセスメ ントⅠ
使えるフィジカルア セスメント ～目と手と耳でここ までわかる～
医療安全Ⅱ
医療事故防止のため に知っておきたい知識 ～注射や内服の事故 を防ぐために～
身につけたい人工呼 吸器装着患者の看護
口腔ケアの基本

看護実践能力養成Ⅱ

研修会テーマ
いきいきとした保健 師活動
看護研究Ⅱ
これならできる統計 手法
自分流キャリアの磨 き方
記録から看護の質を 変える！看護実践が 見える記録の書き方
がん看護実践編 ～寄り添い支える看 護の実際～

看護実践能力養成Ⅱ

研修会テーマ
臨床で直面する倫理 的問題
解りやすい胎児エコー の基本と実際 基 礎編
感染管理Ⅱ
ストップ！院内感染 ～感染ゼロを目指し て～
褥瘡ケアの基本
フィジカルアセスメ ントⅡ
～明日の看護に自信 をつける～

看護実践能力養成Ⅲ

研修会テーマ
医療安全Ⅲ
医療の質と安全管理 の実際
看護管理者に必要な 経営感覚を身につけ よう
魅力ある看護部を目 指すために！ ～看護管理者の心得 ～
一緒に考えよう！こ れからの新人教育

看護実践能力養成Ⅲ

研修会テーマ
保健医療福祉サービ スのマーケティング
[サードレベル公開講座]
看護制度・政策
[サードレベル公開講座]
顧客満足と交渉
[サードレベル公開講座]
仕事で使うレポート・ 資料の書き方、作り 方
[ファーストレベル公 開講座]
看護サービスの質管 理 リスクマネジメント
[ファーストレベル公 開講座]

トピックス

研修会テーマ
看護職としての暴力 への対応
病棟と在宅での看護 の違い ～地域が求める在宅 退院調整～
職業人としての生き 方 ～自分らしいワーク・ ライフ・バランスと は～
看護職のメンタルヘ ルスケア

リフレッシュ

研修会テーマ
Color色で元気に！ ～カラーセラピー～
メディカルアロマセ ラピーの基礎
女将劇場に学ぶホス ピタリティ

※詳細については教育研修計画冊子等をご覧ください。

3 新人看護職員（保健師・助産師・看護師）研修事業の推進

目 標	事 業	内 容
<p>3-1 新人看護職員研修 担当者の育成</p>	<p>1) 教育担当者研修 (県委託)</p>	<p>[研修目的]</p> <p>1. 新人看護職員の卒後臨床研修制度について理解し、教育担当者として、新人看護職員及び実地指導者への教育的支援が出来る。 期 間：H. 24. 1～3月頃（5日程度）</p> <p>[内容]</p> <p>1. 新人看護職員研修ガイドラインの理解 ・新人看護職員研修ガイドラインの考え方 ・新人看護職員研修に関する考え方や政策的動向 ・生涯学習、専門職業人としての継続教育、キャリアについて ・新人看護職員研修における教育担当者の役割</p> <p>2. 新人看護職員研修の企画・運営・評価の実際 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・指導方法や教育的関わり方 （指導上の問題や解決方法について） ・新人看護職員研修の教育計画立案と運営、評価の方法について</p>
	<p>2) 実地指導者研修 (県委託)</p>	<p>[研修目的]</p> <p>1. 新人看護職員研修における実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員への教育的支援が出来る。 期 間：H. 23. 10～12月、 H. 24. 1～ 3月（5日程度）</p> <p>[内容]</p> <p>1. 看護基礎教育の動向と概要 2. 新人看護職員研修の動向と概要 3. 新人看護職員を支える組織体制 4. 看護技術指導の考え方 5. 新人看護職員の医療安全教育 6. 新人看護職員と実地指導者のメンタルサポート</p>

4 看護職の確保定着に向けた事業拡充

目 標	事 業	内 容
4-1 看護職確保定着促進	<p>1) 働き続けられる職場づくり、ワーク・ライフ・バランス実現のための推進</p> <p>2) 中小病院看護職員確保定着支援事業(県委託)</p> <p>3) 看護職定着に関する研修会</p> <p>4) 合同就職説明会(県委託)</p> <p>5) 委員会</p> <p>6) 日本看護協会との連携</p>	<p>①労働環境整備促進について要望・提言</p> <p>②業務改善に関する取り組み 職場・業務改善発表・交流会開催(社会経済福祉委員会)</p> <p>③看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップの取り組み準備 ア. WLB推進委員会の設置 イ. 先進県への視察 ウ. WLB地域推進連絡協議会への出席</p> <p>④インターネット配信研修 働き続けられる職場づくり ～夜間勤務を科学する～ H23. 11. 26(土)</p> <p>⑤会員支援センターの積極的活用</p> <p>①200床未満の希望する中小病院5ヵ所程度へアドバイザー派遣 ・教育体制の確立 ・業務内容の整理、改善 ・勤務環境整備 ・その他</p> <p>②検討会開催 年3回</p> <p>③報告会開催 H24. 3月予定</p> <p>①新人へのメッセージナーズ主義! ～看護師だからできる生き方考え方～ H23. 7. 28(木)</p> <p>②新人の自己成長のためのポートフォリオ入門編 H23. 12月</p> <p>③今日から役立つコミュニケーションスキル H23. 5. 20(金)</p> <p>④悩んでいませんか、新人教育。応援します、プリセプター H23. 6. 28(火)</p> <p>⑤自分流 キャリアの磨き方 H23. 9. 24(土)</p> <p>⑥魅力ある看護部を目指すために!～看護管理者の心得～ H23. 12. 10(土)</p> <p>⑦看護職のメンタルヘルスケア H23. 10. 4(火)</p> <p>⑧職業人としての生き方～自分らしいワーク・ライフ・バランスとは～ H23. 11. 13(日)</p> <p>①看護学生・未就業者と県内の病院 H23. 7. 3(日) ホテルニュータナカ(山口市) 病院面談者採用実績調査 1回</p> <p>①社会経済福祉委員会 6回程度</p> <p>①都道府県社会経済福祉委員会担当者会議 1回</p>
4-2 准看護師への支援	<p>1) 准看護師の看護師免許取得のための支援</p> <p>2) 「准看護師のつどい」</p> <p>3) 准看護師支部研修支援</p> <p>4) 委員会</p>	<p>①看護師学校養成所2年課程(通信制)に関する会員・非会員への情報提供(会報・リーフレット・ホームページ等)</p> <p>②准看護師等の相談への対応</p> <p>③看護師学校養成所2年課程(通信制)学校説明会 予定(看護制度委員会)</p> <p>④レポート作成の指導</p> <p>⑤奨学金制度の周知他</p> <p>①シンポジウム・研修会(看護制度委員会)</p> <p>①研修費の助成</p> <p>①看護制度委員会 6回程度</p>

目 標	事 業	内 容
<p>4-3 ナースセンター事業の推進 (県委託)</p>	<p>1) 無料職業紹介 (e-ナースセンター)</p> <p>2) 再チャレンジ研修</p> <p>3) 再就業コーディネーターの配置</p> <p>4) 委員会</p> <p>5) 日本看護協会との連携</p>	<p>①未就業者及び求職者の登録 ②求人施設の登録 ③無料職業紹介業務 ④求職者への相談業務 ⑤求人情報の提供 ⑥事業報告、事業変更届等 ⑦調査 ・NCCS求人・求職者状況調査 ・病院主催再就職支援セミナー実施状況調査 ・ナースセンター事業に係る看護職員の就業状況調査 ⑧広報・啓発活動 ・ナースセンターだより・きらめき合併年4回発行 ・看護協会ホームページ掲載 ・市町広報、公共職業安定所他機関、マスメディア等 ・リーフレット、チラシ配布 ・関係機関連携・情報交換 ⑨会議・研修等 ・職業紹介責任者講習 福岡市 H23. 9. 14(水) ・山口県看護職員確保対策協議会(県主催) 2回 ・無料職業紹介事業所等連絡会議(県社協主催) 2回 ・福祉人材確保推進協議会(山口労働局主催) 1回</p> <p>①再就業に向けてのブランクに応じたコース別研修 9~12月開催予定 5日・10日・15日コースから選択 ②自己学習の支援</p> <p>①再就業に向けての個別支援 ②ハローワークでの相談支援の充実 相談回数の増加と時間の延長 ハローワーク徳山・宇部 5月~3月 各11回 計22回 毎月第3水曜日 10:00~16:00 ③再チャレンジ研修見学実習施設の調整</p> <p>①ナースセンター事業委員会 5回程度</p> <p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議 1回</p>
<p>4-4 セカンドキャリア支援事業の推進</p>	<p>1) セカンドキャリア研修・交流会</p>	<p>①相談・無料職業紹介 ②定年退職者及び退職予定者の研修・交流会開催 H23. 11. 24(木)</p> <p>・情報交換 ・講演 看護協会教育研修会合同 「女将劇場に学ぶホスピタリティ」 湯田温泉西の雅常盤 大女将 宮川高美氏</p>

5 療養生活を支える訪問看護の推進と充実

目 標	事 業	内 容
5-1 訪問看護支援事業の推進	1) 訪問看護師育成支援事業（県委託） 2) 山口県訪問看護ステーション協議会との連携 3) 委員会	①初任者研修 訪問看護研修ステップ1 H23. 7～12月の間 30日（180時間）開催予定 ②中堅職員・管理者育成研修 H23. 6～12月の間 5日開催予定 ①訪問看護研修の企画・募集・運営等協力 ①あり方検討会
5-2 訪問看護推進事業の推進	1) 訪問看護推進事業（県委託） 2) 委員会 3) 日本看護協会との連携	①訪問看護推進協議会 1回 ②訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修 H23. 8～10月の間 5日開催予定 ①在宅ケア推進特別委員会 5回程度 ①都道府県看護協会訪問看護担当者会議 1回
5-3 在宅療養者の生活を守る訪問看護の推進（看護協会立3訪問看護ステーション）	1) 質の高い訪問看護サービスの提供 2) 訪問看護に関わる関連団体との協力 3) 訪問看護振興財団他団体との連携	①カンファレンス開催 ②介護者・家族へのサポート強化 ③満足度調査実施（評価によるケアの向上） ④サービスの質の自己評価 ⑤3訪問看護ステーションの管理者会議開催 月1回（サービス向上を目的とした課題の検討） ⑥介護サービス情報の公表の充実 ⑦研修参加 ①看護学生等の実習受入れ ②関係機関との会議・連絡 ①訪問看護サミット2011 出席 H23. 11. 13(日)
5-4 訪問看護ステーション事業の運営推進（看護協会立3訪問看護ステーション）	1) 経営目標に基づく安定した事業の実施 2) 施設整備事業 3) 広報活動	①積極的なPRを実施し、利用者の増加 ②ケアマネージャーとの連携強化 ③24時間対応体制と緊急時対応の充実 ④医療機関・福祉施設等との連携・強化 ⑤訪問看護等に関する電話・来所相談 ⑥健全運営会議開催 2回程度 ⑦3ステーション運営会議開催 2回 ①ひかり訪問看護ステーション施設整備の検討 ①県協会ホームページに3訪問看護ステーションのページ作成 ②パンフレット・のぼり作成の検討

6 県民の健康と福祉を守る活動の推進

目 標	事 業	内 容
6-1 「看護の心」普及・啓発促進	1) 看護の日・看護週間行事開催 2) 出前授業・進路相談 3) 「国際助産師の日」活動支援 4) 他団体との共催行事	①11支部・会員施設において看護の日・看護週間行事開催 ①中学・高校生対象に実施 ①各支部助産師職能活動支援（リーフレット作成、物品整備） ①県民公開講座「県民の健康と医療を考える会」主催（県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会・県看護協会等）日時 未定 ②日本の医療を守る山口県民集会 ③山口県女性団体連絡協議会（16団体活動）
6-2 県民の健康増進への支援	1) 「まちの保健室」活動の推進 2) 他団体との共催行事	①支部への支援・助成金交付 ②指導用パンフレット等の充実 ③関係機関との連携推進 ④会館内「まちの保健室」住民への交流スペース活用 ①エンパワーメントフェスタ まちの保健室 H23. 5. 15（カリエンテ山口）
6-3 災害看護支援体制	1) 災害支援ナース研修 2) 災害看護支援要綱の見直し 3) 災害支援活動に必要な物品の整備 4) 災害看護ネットワークの推進 5) 「防災の日」訓練への参加 6) 日本看護協会との連携	①災害支援ナースフォローアップ研修会 ②都道府県看護協会における災害支援ナース指導者養成研修 2名派遣 ①要綱内容の見直し・作成（日本看護協会も改正予定） ②マニュアルの見直し・作成 ①災害支援物品の充足 ①山口県看護協会の災害時看護支援体制の充実 ②各支部との連携 ③日本看護協会との連携 ④行政機関・関係団体との連携 ⑤災害支援ナース登録者施設との連携 ⑥災害支援ナース登録者との連携 ⑦災害支援ナース登録申請様式変更に伴う登録者の整備 ①日本看護協会の災害時支援ネットワークシステムを運用してシミュレーションの実施 ①都道府県看護協会災害看護担当者会議 H23. 8. 5予定

目 標	事 業	内 容
<p>6-4 医療・看護安全の推進</p>	<p>1) 医療安全管理者の養成研修</p> <p>2) 医療・看護安全研修会</p> <p>3) リスクマネジャーのネットワークの構築</p> <p>4) 医療・看護安全に対する啓発</p> <p>5) 委員会</p> <p>6) 日本看護協会との連携</p> <p>7) 看護職賠償責任保険の加入促進</p>	<p>①医療安全管理者養成研修会（医療安全対策加算に係わる研修） H23. 8月19～24日 4日間 9月20～22日 3日間</p> <p>①医療安全Ⅰ（新人教育） H23. 9. 21(水) 「身につけよう！」リスクマネジメントの基礎 講師 山口赤十字病院 副看護部長 村田 恵子</p> <p>②医療安全Ⅱ（看護実践能力養成Ⅰ） H24. 1. 31(火) 「医療安全防止のために知っておきたい知識」 ～注射や内服の事故を防ぐ 講師 杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 川村 治子</p> <p>③医療安全Ⅲ（看護実践能力養成Ⅲ） H23. 6. 4(土) 「医療の質と医療安全管理の実際」 講師 名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 教授 長尾 能雅</p> <p>①専任リスクマネジャー交流研修会開催 1回</p> <p>①医療安全推進特別委員会による医療安全情報掲載（年4回） ②医療安全推進週間啓発用ポスター掲示 ③印刷物・ホームページ等による情報提供</p> <p>①医療安全推進特別委員会5回程度</p> <p>①医療安全推進会議 H23. 7. 14(木)</p> <p>①加入の呼びかけ—あらゆる機会を通して ②「看護職賠償責任保険制度」サービス推進室（コールセンターの利用推進（相談・支援・情報提供）</p>
<p>6-5 行政機関並びに他団体との連携推進</p>	<p>1) 保健医療福祉行政等が開催する諸会議への出席</p> <p>2) 他団体との連携</p>	<p>①各種審議会、各種協議会、各種委員会等</p> <p>①第7回医療関係団体新年互礼会（14団体） H24. 1. 7(土)予定</p> <p>②山口県医師会との懇談会 1回 日時未定</p>